

2012. 03. 31 現在

坂本英治(さかもとえいじ) Eiji Sakamoto D. D. S., Ph. D.

生年月日昭和 44(1969)年 10 月 21 日 40 歳 熊本県出身本籍福岡県

現在の所属 :

九州大学大学院 歯学研究院口腔顎顔面病態学講座 歯科麻酔学分野 講師  
略歴

昭和 63 年 3 月熊本県立済々黌高等学校卒業

平成元年 4 月福岡県立九州歯科大学歯学部歯学科入学

平成 7 年 3 月福岡県立九州歯科大学歯学部歯学科卒業

平成 7 年 5 月福岡県立九州歯科大学付属病院臨床研修医(歯科麻酔学)

平成 8 年 6 月 Department of Anesthesiology(Prof Tony L Yaksh) University of California  
San Diego

平成 9 年 7 月福岡県立九州歯科大学歯科麻酔学講座 助手

平成 18 年 4 月公立学校法人九州歯科大学学生体機能科学専攻生体 機能制御学講座 歯科侵襲制御  
学分野 助手

平成 19 年 4 月 防衛大学校麻酔学講座 助教

平成19年4月 九州大学大学院 歯学研究院口腔顎顔面病態学講座 歯科麻酔学分野 講師  
現職

学位 乙第 679 号

授与平成 18 年 12 月 31 日

学位論文題名 : Correlation between emotion and pain in patients with dental phobia: a  
clinical study

(歯科恐怖症患者における情動と痛みに関する臨床的検討)

坂本英治、椎葉俊司、仲西修 Pain research 169 - 176 21(4) 2006

資格学会認定医番号

平成 7 年 5 月 1 日 歯科医師免許(歯科医籍 126115 号)

平成 10 年 8 月 日本歯科麻酔学会認定医(認定医番号 743 号)

平成 16 年 5 月 22 日 日本歯科麻酔学会指導医(指導認定医番号 138 号)

(平成 17 年度より中間法人化に伴い専門医へ変更 歯科麻酔専門医番号 138 号)

平成 19 年 8 月 21 日 日本頭痛学会専門医専門医番号 461 号

## 学会活動

平成 19 年 8 月 日本口腔顔面痛学会 ガイドライン委員会

平成 19 年 10 月 5 日 有限責任中間法人日本歯科麻酔学会評議員 (IV, V 期)

平成 21 年 4 月 1 日 - 平成 24 年 3 月 31 日 日本口腔顔面痛学会 ガイドライン委員会

平成 21 年 10. 9 日 - 有限責任中間法人日本歯科麻酔学会地域医療委員会 (IV, V 期)

平成 23 年 12 月 1 日 - 日本口腔顔面痛学会 暫定認定医、暫定専門医、暫定指導医 (第 47 号)  
講習会受講

ボツリヌストキシン研究会セミナー

1. 眼瞼・顔面痙攣治療 講習・実技セミナー

2. 痙性斜頸 講習・実技セミナー (No. S04009-00057, NO. C04010-00044)

平成 16 年 3 月 27 日福岡

3. 臨床研修歯科医師指導者講習会

九州歯科大学第 3 回臨床研修歯科医師指導者講習会 No151

平成 18 年 2. 11-12 日

## 研究費獲得状況

三叉神経領域の慢性疼痛の発症機序の解明と治療法の確立

I 科学研究費 <http://kaken.nii.ac.jp/ja/r/00295859/1>

1. 平成10 ～ 11年度(奨励研究(A): 課題番号10771143)

① 顎顔面慢性疼痛における刺激伝達経路の検討-マイクロダイアリス法を用いて-

② 坂本英治 (代表者)

③ 総額 : 1900 千円 11 年度 : 800 千円 10 年度 : 1100 千円

2. 平成10 ～ 11年度(基盤研究(C): 課題番号10671901)

① ストレスの脳ニューラルネットワークへの作用とベンゾジアゼピン系薬と笑気の修飾  
高次脳機能からの検討

② 河原博、坂本英治、仲西修 (分担研究者)

③ 総額 : 2600 千円 11 年度 : 700 千円 10 年度 : 1900 千円

3. 平成10 ～ 11年度(萌芽的研究: 課題番号0877328)

① 顔面部慢性疼痛における三叉神経、知覚神経系の可塑性と分子生物学的病態解明

② 仲西修、坂本英治 (分担研究者)、岩本将嗣

③総額：1900千円 11年度：500千円 10年度：1400千円

4. 平成11～13年度(基盤研究(C)：課題番号11671999)

①口腔顔面領域の慢性疼痛モデル動物における侵害受容ニューロン情報伝達変容の究明

②岩本将嗣、仲西修、坂本英治（分担研究者）

③総額：3500千円 13年度：500千円 12年度：800千円 11年度：2200千円

5. 平成12～13年度(奨励研究(A)：課題番号12771231)

① `神経伝達物質受容体の持続的活性が来す難治性疼痛進展機構の検討-髄腔内持続微量投与モデルを用いて-

②坂本英治（代表者）

③総額：2300千円13年度：900千円 12年度：1400千円

6. 平成12～14年度(基盤研究(B)：課題番号12470446)

①ストレスの高次脳機能への作用と精神鎮静法の修飾

②河原博、椎葉俊司、田中正敏、仲西修、坂本英治（分担研究者）

③総額：11100千円 14年度：3000千円 13年度：3000千円 12年度：5100千円

7. 平成13～14年度(基盤研究(C)：課題番号13672113)

①三叉神経障害後の疼痛異常感覚発現における神経栄養因子の役割に関する研究

②今村佳樹、坂本英治（分担研究者）、椎葉俊司、仲西修

③総額：700千円 14年度：800千円 13年度：1900千円

8. 平成14～15年度(基盤研究(C)：課題番号：14571905)

①難治性疼痛へのインターロイキン6の関与の検討

②椎葉俊司、仲西修、坂本英治（分担研究者）

③総額：3400千円 14年度：1400千円 15年度：2000千円

9. 平成16～17年度(基盤研究(C)：課題番号：6592012)

①神経因性疼痛への神経栄養因子の関与に関する研究

②椎葉俊司、仲西修、坂本英治（分担研究者）

③総額：3400千円 17年度：2000千円 16年度：1400千円

10. 平成17～18年度(若手研究(B)：課題番号：17791481)

- ①顎不随意運動患者の診断・治療法の検討 -双極子追跡法による脳イメージング
- ②坂本英治（代表者）
- ③総額:2800千円 18年度：800千円 17年度：2000千円

#### 11. 平成 23 ～ 25 年度

- ①頭頸部難治性疾患に対する遺伝子治療を中心とした新しい治療法の開発
- ②塩谷彰浩、松延毅、荒木幸仁、山下拓、佐藤泰司、風間富栄、坂本英治（分担研究者）、菊池眞
- ③総額:35000千円

脊髄における疼痛刺激の伝達様式の行動薬理的考察および情動活動に伴う疼痛反応の行動薬理的考察を行う。その間現在までにおいて研究活動は以下

#### 12. 平成 23 ～ 25 年度基盤研究（C）課題番号:23593009

- ①ストレスは痛みの伝達機構に影響をもたらすか?-不安による侵害刺激伝達変調の研究-
- ②坂本英治（代表者）
- ③総額:3900千円 23年度：1700千円 24年度：1100千円 25年度：1100千円

## 受賞

1. Current Perception Threshold (CPT) を用いた三叉神経 Neuropathy の定量的感覚試験の検討  
坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、岩本将嗣、河原博、仲西修

第 22 回日本疼痛学会総会 12. 2. 2000 (平成 12 年) 京都会長推薦演題

2. 脳腫瘍由来の三叉神経痛患者 4 症例の感覚についての検討

坂本英治<sup>1</sup>, 椎葉俊司<sup>1</sup>, 坂本和美<sup>1</sup>, 原野望<sup>1</sup>, 甲斐絢<sup>1</sup>, 仲西修<sup>1</sup>

第 26 回日本疼痛学会総会 7. 17. 2004 (平成 16 年) 東京 会長推薦演題

3. 難治性口腔顔面痛への直線偏光近赤外線の効果についての検討

坂本英治<sup>1,2)</sup>, 諸富孝彦<sup>3)</sup>, 北村知昭<sup>3)</sup>, 椎葉俊司<sup>2)</sup>, 矢野淳也<sup>3)</sup>, 永吉雅人<sup>3)</sup>, 寺下正道<sup>3)</sup>, 仲西修<sup>2)</sup>, 風間富栄<sup>1)</sup>

日本レーザー治療学会誌 6(2) 22-25 2007. (第 20 回日本レーザー治療学会学会賞受賞論文 平成 20 年 6. 28-29 東京)

## 教育

1. 九州歯科大学 OSCE 委員会

平成 14-18 年

2. 九州歯科大学 OSCE 企画委員会

平成 17-18 年

3. 学校法人明経学園美萩野臨床医学専門学校 非常勤講師

平成 17-18 年

4. 九州大学歯学部 OSCE 委員会

平成 23-

## 講習会

1. 第 3 回共用歯学試験 OSCE ワークショップ

愛知学院大学歯学部

2003 年 11 月 28-29 日

2. 臨床研修歯科医師指導者講習会

九州歯科大学第 3 回臨床研修歯科医師指導者講習会 No151

平成 18 年 2. 11-12 日

3. 医学教育ワークショップ

防衛医科大学校

2010 年 7 月 9-10 日

## OSCE外部評価者

1. 大阪歯科大学歯学部 共用歯学試験OSCEトライアル外部評価者  
2004年4月23-24日
2. 徳島大学歯学部 共用歯学試験OSCEトライアル外部評価者  
2004年12月24-25日
3. 長崎大学歯学部 共用歯学試験 OSCE トライアル外部評価者  
2005年11月25-26日
4. 福岡歯科大学歯学部 共用歯学試験 OSCE トライアル外部評価者  
2006年7月1-2日
5. 鹿児島大学歯学部 共用歯学試験 OSCE トライアル外部評価者  
2006年9月22-23日

## 著書

1. 口腔顔面痛—基礎から臨床へ 上田 裕 監訳  
第15章 診断の道程 P161-174  
坂本英治、今村佳樹  
クインテッセンス出版、東京、2001. 6
2. 日本歯科評論 (Dental Review). 増刊2001 最新・歯科局所麻酔ハンドブック 編著. 金子讓・大曾根洋
14. 知っておきたい局所麻酔による神経麻痺への対応 P208-218  
椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹  
ヒョーロンパブリッシャーズ、東京、2001. 9
3. ペインクリニック診断・治療ガイド—痛みからの解放とその応用  
頭痛、4, 群発頭痛 (P156-158), 5, 側頭動脈炎 (P159-160) 6, 術後性上顎嚢胞 (P161) 8, Tolosa-Hunt症候群 (P164-165) 大瀬戸 清茂編 :  
坂本英治、今村佳樹  
日本医事新報社、東京 2005. 8
4. 歯科臨床で生かす炭酸ガスレーザー 榎原正人、小園凱夫編  
第5章臨床 4 口腔顔面痛の分類 P159-166  
坂本英治、富永和宏、鱒見進一医学情報社 東京 2006. 4
5. 必修臨床研修歯科医ハンドブック 竹原直道、広藤卓雄監修  
第5章 審査・診断・処置方針 7, 痛みの審査・診断・処置方針 P53-54  
坂本英治

医歯薬出版、東京 2006. 6

6. 歯科医師のための口腔顔面痛ハンドブック 仲西修監修 椎葉俊司編集  
痛みと疾患 7. 神経因性疼痛(1)外傷性三叉神経ニューロパシー (p26-27)  
9. その他(5)顔面神経麻痺 (p44-45)

ポイント

3. 知覚麻痺(1)簡単な知覚の定量化(2)神経障害の予後予測 (p62-63)  
7. 捨てたもんじゃない理学療法(1)光線療法／低周波治療器 (p74)

坂本英治

永末書店、大阪 2008. 1. 11

7. Imamura Y, Sakamoto E, Shiiba S, Noma N, Shinozaki T (2009) Diagnosis and Treatment of Trigeminal Neuropathic Pain Conditions. In Nociceptive and Neuropathic Pain: Mechanisms and Treatments (eds. Bai-Chuang Shyu and Chih-Cheng Chien). Research Signpost, Kerala, India. 283-311. 2009

8. `非歯原性疼痛-原因は別にある` 歯と口の痛みを治療する`

北村知晶、柿木保明、椎葉俊司編

医歯薬出版、東京 2011.

## 講演

### 1. 歯科外来における救急蘇生と AED

坂本英治

小倉歯科医師会、2006 (H18). 5. 11 小倉歯科医師会館、北九州市

### 2. 歯の痛みとそうでない痛み

坂本英治

九州歯科大学山口県同窓会中央支部総会 2006 (H18). 6. 17 日山口市歯科医師会館、山口市

### 3. 歯の痛みとそうでない痛み

坂本英治

九州歯科大学泉友会セミナー 2007 (H19). 6. 3. 九州歯科大学、北九州市

### 4. 頭頸部慢性疼痛について

坂本英治

九州歯科大学神奈川同窓会(神奈川臨床研究会) 2007 (H19). 08. 26 横浜市民センター、神奈川

### 5. 非歯原性顔面疼痛の診断と治療

坂本英治

九州歯科大学埼玉県同窓会 2008 (H20). 11. 09 浦和ロイヤルパインズホテル 埼玉

### 6. 歯科医院で遭遇する非歯原性疼痛について 医院におけるトラブルシューティング

坂本英治

第4回歯科臨床セミナー(九州大学歯学部主催)2011 (H23) 7. 30 福岡県歯科医師会館、福岡

7. 「安全な麻酔とモニタリング」「デンタルショック」「気道トラブル」「前投与と静脈内鎮静法」セッション「デンタルショック」大テーマは「トラブルの予防と対処」

坂本英治 九州臨床再生歯科研究会 2012 (H24) 1. 11

### 8. 医科と歯科からみた頭痛

坂本英治 長崎県保険医協会主催 第21回日常診療経験交流会シンポジウム 2012 (H24) 6. 30  
長崎市

## 院内セミナー、小勉強会

### 1. ずっと根治するけどなんでこのひと痛いんやろか？

九州歯科大学保存修復学講座 大学院ゼミ

### 2. Basic Life Support Advanced Cardiovascular Life Support—救急車到着までにやるべきこと

北九州インプラント研究会(KIG)にて 2005 (H17) 1. 20 小倉歯科医師会館 北九州市 福岡



3. 有病者治療のカットライン～医管(歯科治療医療管理指導料)適応疾患のみかた～  
北九州インプラント研究会(KIG)にて 2005(H17)9.15 小倉歯科医師会館 北九州市 福岡

4. 九州歯科大学付属病院での麻痺治療の現状～その診断と治療～

坂本英治、椎葉俊司

福岡県歯科医師会麻痺研究会 2006(H18).2.28 小倉歯科医師会館 北九州市 福岡

5. 原因不明の歯の痛みの対応と問題点～抜歯のまえに考えてみたいこと～

北九州インプラント研究会(KIG)にて 2007(H19)2.15 小倉歯科医師会館 北九州市 福岡

6. 顎関節症と頭痛、顔面痛

九州歯科大学顎関節症カンファレンスにて 2007(H19)1.11 九州歯科大学、福岡

7. 口腔顔面痛について

九州大学顎口腔外科医局会にて 2011(H23)9.9 九州大学、福岡

8. 非歯原性疼痛について

九州大学歯内療法科医局会にて 2011(H23).11.10 九州大学、福岡

9. 非歯原性疼痛について II 紹介症例の経過報告

九州大学歯内療法科医局会にて 2012(H24).2.23 九州大学、福岡

10. 歯列矯正の痛みとその管理

九州大学歯科矯正科医局会にて2012(H24).4.20 九州大学、福岡

## 原著

### 1, 局所麻酔針刺入時疼痛への注射針外経および表面麻酔薬の影響

坂本英治、仲西修、藤本敦仁、石井聡一他、

九州歯科学会雑誌 49 (6), 528-532, 1995

### 2, 浸潤麻酔時の疼痛への表面麻酔薬濃度差の影響

石井聡一, 仲西修, 坂本英治

九州歯科学会雑誌 49 (6), 533-538, 1995

### 3, Characterization of the effects of gabapentin and 3-isobutyl-gamma-aminobutyric acid on substance P-induced thermal hyperalgesia.

Partridge BJ, Chaplan SR, Sakamoto, E and Yaksh TL.

Anesthesiology 88(1) 196-205. 1998

### 4, The Effect of Clonidine on 30% Nitrous Oxide Inhalation Sedation.

Shunji Shiiba, Yoshiki Imamura, Hiroshi Kawahara, Masatsugu Iwamoto, Eiji Sakamoto, Osamu Nakanishi.

Dentistry in japan 35 118-120. 1999

### 5, 歯科治療後にみられる知覚異常の予後診断に関する研究-自覚症状について-

今村佳樹、坂本英治、椎葉俊司、岩本将嗣、河原博、安坂将樹、田原史子、中島享彦、福田仁一、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 28(1) 20-26 2000

### 6. サリドマイトのラット坐骨神経のChronic constriction injuryモデルに対する影響についての研究

椎葉俊司、今村佳樹、坂本英治、佐久間泰司、河原博、岩本将嗣、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 28(2) 174-182 2000.

### 7, ニューロメーターを用いた外傷性三叉神経ニューロパシーの病態評価について

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、石川敏三、鱒見進一、岩本将嗣、河原博、仲西修

Pain Research 16(2) 57-62 2001

第 22 回日本疼痛学会総会 12. 2. 2000 (平成 12 年) 京都 (会長推薦演題)

### 8, 歯科治療後にみられる知覚異常の予後診断に関する研究 定量的・非定量的感覚検査について

今村佳樹、坂本英治、椎葉俊司、岩本将嗣、河原博、鱒見進一、仲西修

Pain Research 16(2) 83-89 2001

### 9, 三叉神経領域における Current Perception Threshold の臨床使用に関する研究 -三叉神経領域への CPT の応用-

椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、岩本將嗣、河原博、仲西修  
慢性疼痛 20(1) 126-132 2001

10. 九州歯科大学附属病院顎関節症科の初診患者の動向

有田正博、鱒見進一、王丸寛美、堀孝良、竹内敏洋、林恩信、今村佳樹、椎葉俊司、坂本英治、富永和宏、高橋哲、福田仁一

九州歯科学会雑誌 56(4) 147-151 2002.

11. プライマリ・ケアのストレス緩和 痛みに対する不安の影響

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、岩本將嗣、河原博、仲西修

総合臨床 51(9)2703-2706 2002.

12. Imamura Y, Shiiba S, Sakamoto E, Masumi S and Nakanishi O : Predicting prognosis of abnormal sensation after trigeminal nerve injury. American Pain Society Bulletin, 12(3) 3-10 2002

13. 三叉神経ニューロパシーへのパロキセチンの効果

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、岩本將嗣、河原博、仲西修

日本臨床麻酔学会雑誌 23(1)7-11. 2003

14. 外傷性三叉神経ニューロパシーに対する星状神経節ブロックの効果

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、坂本和美、松本吉洋、石川敏三、岩本將嗣、河原博、仲西修

Pain Research 18(1) 25-30 2003.

15. 頸部疾患に由来する口腔顔面痛の検討

今村佳樹、椎葉俊司、坂本英治、仲西修

日本ペインクリニック学会雑誌 11(1) 16-19 2004

16. 顎関節周囲への CO2 レーザー照射時における顔面皮膚表面温度変化の検討

楨原絵理、楨原正人、坂本英治、鱒見進一

日本レーザー歯学会誌 15(2)67-72, 2004

17. 本学 OSCE トライアル直後および 6 ヶ月経過後の臨床実習中に行った受験生アンケート調査結果の変化

北村知昭、木尾哲朗、有田正博、庄野庸雄、黒川英雄、大住伴子、坂本英治、西原達次、寺下正道、横田誠

日本歯科医学教育学会雑誌 20(1)118-126 2004

18. 客観的能力試験(OSCE)における模擬患者による評価の分析

木尾哲朗、大住伴子、栗野秀慈、黒川英雄、北村知昭、有田正博、庄野庸雄、坂本英治、西原達次、横田誠、寺下正道

日本歯科医学教育学会雑誌 20(1)157-165, 2004

19. 九州歯科大学におけるOSCEトライアルの評価

有田正博、西田郁子、吉野賢一、中村恵子、小城辰郎、北村知昭、木尾哲朗、大住伴子、坂本英治、庄野庸雄、黒川英雄、安細敏弘、一田利道、佐藤耕一、篠原雄二、瀬田祐司、園木一男、芳賀健輔、村田貴俊、林田裕、横田誠、寺下正道、西原達次

九州歯科学会雑誌 58(6) 213-222 2004

20. 障害者に対する入院下全身麻酔下歯科診療の検討

吉田充広、松本吉洋、井ノ森巳賀子、山口浩志、坂本英治、椎葉俊司、河原博、小島幸美、西岡孝浩、日高彰子、西田郁子、牧憲司、木村光孝、仲西修

障害者歯科26(1)52-57 2005.

21. 標準模擬患者による客観的評価に関する研究

木尾哲朗、大住伴子、粟野秀慈、黒川英雄、北村知昭、有田正博、庄野庸雄、坂本英治、園木一男、西原達次、寺下正道、横田誠

日本歯科医学教育学会 20(2) 346-357 2005.

22. 筋筋膜痛症患者 121 名の検討

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、有留ひふみ、大宅江利子、小林亜由美、城野嘉子、松本吉洋、吉田充広、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 33(3)416-421 2005.

23. 平成14年度九州歯科大学OSCEトライアルにおける受験生アンケート調査

中村恵子、北村知昭、木尾哲朗、有田正博、庄野庸雄、黒川英雄、大住伴子、坂本英治、西田郁子、芳賀健輔、小城辰郎、一田利道、佐藤耕一、篠原雄二、粟野秀慈、園木一男、吉野賢一、瀬田祐司、村田貴俊、林田裕、西原達次、横田誠、寺下正道

九州歯科学会雑誌 59(3) 105-112 2005.

24. 正常者における歯根膜知覚に対する脳機能評価 --fMRIによる解析--.

森本泰宏、吉野賢一、安藤浩伸、椎葉俊司、坂本英治、田中達朗、鬼頭慎司、波多野圭紀、河岸重則、鱒見進一、仲西修、松藤由香、大庭健

北九州医工学術雑誌(北九医工誌) 16, 23-26, 2005.

25. Evaluation of facial thermographic changes before and after low-level laser irradiation.

Eri Makihara, Masato Makihara, Shin-ichi Masumi, Eiji Sakamoto.

Photomedicine and Laser Surgery 23(2) 191-195 2005. (1.785)

26. Utility of magnetic resonance cisternography using tree-dimensional fast asymmetric spin-echo sequences with multiplanar reconstruction: the evaluation of sites of neurovascular compression of the trigeminal nerve.

Tasuro Tanaka, Yoshihiro Morimoto, Shunji Shiiba, Eiji Sakamoto, Shinji Kito, Yuka Matsufuji, Osamu Nakanishi, Takeshi Ohba

Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology, and Endodontology. 100(2) 215-225, 2005. (1. 581)

27. 脳腫瘍由来の三叉神経痛は知覚低下を伴うのか～腫瘍由来の三叉神経痛患者7症例の定量的感覚閾値検査についての検討

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、松本吉洋、吉田充広、萩原正剛、河原博、仲西修

Pain Research 20(1) 9-14 2005(第26回日本疼痛学会会長推薦演題)

28. Correlation between emotion and pain in patients with dental phobia: a clinical study  
Eiji Sakamoto, Shunji Shiiba, and Osamu Nakanishi

(歯科恐怖症患者における情動と痛みの関連についての臨床的検討)

坂本英治、椎葉俊司、仲西修)

Pain research 21(4) 169-176. 2006

29. 大学附属病院における障害者に対する日帰り全身麻酔下歯科診療の検討

吉田充広、小島幸美、原野望、松本吉洋、井ノ森巳賀子、山口浩志、甲斐絢、坂本英治、椎葉俊司、河原博、牧憲司、仲西修

障害者歯科 27(1) 78-83 2006.

30. Cervical plexus block helps in diagnosis of orofacial pain originating from cervical structures.

Shinozaki, T., Sakamoto, E., Shiiba, S., Ichikawa, F., Arakawa, Y., Makihara, Y., Abe, S., Ogawa, A., Tsuboi, E., Imamura, Y.

Tohoku J Exp Med, 210(1), 41-7. 2006

31. 口腔顔面領域における C6 星状神経節ブロックの効果に関する研究-局所麻酔薬使用量と針先の位置の検討-

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、長畑佐和子、江藤梨絵、中本真理子、原野望、吉田充広、河原博、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 35(1) 42-47 2007

32. 難治性口腔顔面痛への直線偏光近赤外線の効果についての検討

坂本英治、諸富孝彦、北村知昭、椎葉俊司、矢野淳也、永吉雅人、寺下正道、仲西修、風間富栄

日本レーザー治療学会誌 6(2) 22-25 2007. (第20回日本レーザー治療学会学会賞受賞論文)

33 The importance of clinical features and computed tomographic findings in numb chin syndrome: a report of two cases.

Yoshioka I, Shiiba S, Tanaka T, Nishikawa T, Sakamoto E, Kito S, Oda M, Wakasugi-Sato N, Matsumoto-Takeda S, Kagawa S, Nakanishi O, Tominaga K, Morimoto Y. J Am Dent Assoc. 2009 May;140(5):550-4.

34. Relationship between the curative effects of carbamazepine administration and the neurovascular compression volume of the trigeminal nerve measured using magnetic resonance cisternography.

Tanaka T, Sakamoto E, Shiiba S, Oda M, Kito S, Wakasugi-Sato N, Matsumoto-Takeda S, Imamura Y, Nakanishi O, Morimoto Y.

Clin J Pain. 2009 Nov-Dec;25(9):752-9.

35. A Possible case of Complex Regional Pain Syndrome in the Orofacial Region,

Eiji Sakamoto, Shunji Shiiba, Noboru Noma, Akiko Okada, Takahiro Shinozaki, Azusa Kobayashi, Kazunobu Koike, Yoshiki Imamura.

Pain Medicine 2010; 11: 274-280

## 臨床、症例、研究報告

### 1. 口腔内に発現した三叉神経 Neuropathy に対する Stent 療法の治療効果

坂本英治、今村佳樹、椎葉俊司、岩本将嗣、河原博、仲西修

日本ペインクリニック学会誌 7(2) 145 2000

### 2. 心因性疼痛と診断されていた三叉神経ニューロパシー2例についての検討

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、鱒見進一、仲西修

日本歯科心身医学会雑誌 16(1) 103-108 2001

### 3. 心気神経症が原因とされた筋筋膜痛症候群に伴う口腔痛の一例

椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、仲西修

日本歯科心身医学会雑誌 16(1) 109-114 2001

### 4. ダウン症候群患者における歯科インプラントの応用

吉成正典、椎葉俊司、岩本将嗣、松本吉洋、坂本英治、服部清、仲西修

障害者歯科 23(4) 545-548 2002

### 5. 歯科治療恐怖症を伴った強皮症患者の抜歯経験

椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、岩本将嗣、河原博、松本吉洋、吉成正典、仲西修 :

障害者歯科 24(1) : 41-44, 2003

### 6. 頸椎疾患が原因で誘発された顔面(歯)痛の治療経験

椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、坂本和美、平良祥、平良陽子、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 31(2) 141-144 2003

### 7. 症状把握が困難であった軽度精神遅滞患者の顎関節症の一症例

坂本英治、土生学、堀江彰久、椎葉俊司、今村佳樹、富永和宏、松本吉洋、吉田充広、河原博、福田仁一、仲西修

日本歯科心身医学会雑誌 18(2) 89-92 2003

### 8. 群発頭痛の症状を呈した Wegener 肉芽腫の一例

今村佳樹、坂本英治、椎葉俊司、仲西修

日本頭痛学会雑誌 30(1) 109-111 2003

### 9. 歯科治療に関連した難治性疼痛 ペインクリニックの立場から

今村佳樹、椎葉俊司、坂本英治、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 32(2) 180-181 2004

### 10. 群発頭痛を伴ったウェゲナー肉芽腫症の一例

坂本英治、椎葉俊司、甲斐絢、原野望、大津ナツミ、長畑佐和子、今村佳樹\*、坂本和美、吉田充宏、松本吉洋、河原博、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 32(2) 230-234 2004

### 11. Cockayne 症候群患者の日帰り全身麻酔下歯科治療経験

坂本和美、氷室秀高、椎葉俊司、亀山貴美子、坂本英治、牧憲司、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 32(3) 371-372 2004

12. 本学 OSCE トライアルでの評価者間の評価結果に対する一致の検討

坂本英治、庄野庸雄、木尾哲朗、北村知昭、園木一男、椎葉俊司、有田正博、大住伴子、黒川英雄、西原達次、寺下正道、横田 誠

日本歯科医学教育学会雑誌 21(2) 183-188 2005

13. 歯科医療従事者および歯学生の救急救命に対する意識についての検討

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、萩原正剛、原野望、甲斐絢、林知孝、堤世理奈、藤本幸子、長畑佐和子、有留ひふみ、吉田充広、河原博、仲西修

日本歯科麻酔学会雑誌 34(1) 53-54 2006

14. アセトアミノフェン（カロナール®細粒50%）の下顎埋伏智歯抜歯後痛への効果- ロキソプロフェンナトリウムとの比較検討-

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、堤世理奈、林知孝、萩原正剛、甲斐絢、原野望、吉田充広、西正勝、河原博、仲西修

日本歯科麻酔学会誌 34(2) 209-210 2006

15. F 回路の吸気用内管脱離によって高炭酸ガス血症を生じた 1 例

原野望、坂本英治、甲斐絢、長畑佐和子、坂本和美、吉田充広、椎葉俊司、河原博、仲西修

日本歯科麻酔学会誌 35(1) 76-77 2007

16. 甲状腺機能低下症を伴った精神発達遅滞患者の全身麻酔導入中に異常低血圧を生じた1症例  
中本真理子、椎葉俊司、原野望、植田佳子、長畑佐和子、吉田充広、坂本英治、河原博、仲西修

日本歯科麻酔学会誌 35(1) 78-79 2007

17. 「歯科からみた頭痛顔面痛」三叉神経痛：総説/特集/抄録あり)

坂本英治、椎葉俊司、仲西修、梅田英一郎、風間富栄

ペインクリニック 28(6) 769-780 2007

18. 経鼻気管挿管用ブレード付きエアウェイスコープの開口障害患者への使用経験

河原博、坂本英治、原野望、吉田充広、椎葉俊司、仲西修

臨床麻酔 31(6) 1063-1064 2007.

19. エアウェイスコープ用経口挿管ブレードの経鼻挿管ブレードへの改良と有用性

河原博、坂本英治、日高和美、山口浩志、中島隆喜、甲斐絢、原野望、吉田充広、椎葉俊司、仲西修

日本歯科麻酔学会誌 35(3) 389-391 2007.

20. 気道管理困難が予想された経鼻挿管症例にAirway Scope®を用いた経験

坂本英治<sup>1</sup>、椎葉俊司<sup>1</sup>、天野裕治<sup>2</sup>、土生学<sup>3</sup>、古田功彦<sup>3</sup>、廣田百合子<sup>3</sup>、児玉正明<sup>3</sup>、原野望<sup>1</sup>、甲斐絢<sup>1</sup>、吉田充広<sup>1</sup>、河原博<sup>1</sup>、仲西修<sup>1</sup>



日本歯科麻酔学会誌 35(3) 400-401 2007.

21. 顎関節症と関連病態(総説/抄録あり)

今村佳樹、坂本英治、椎葉俊司

九州歯科学会雑誌 61(6)6 157-169 2007.

## 総説

### 1, 不安の除去が痛みを緩和する

坂本英治

Dental Today No4 P4 学術 forum 5.15.2000

### 2, 局麻薬アレルギーが疑われる患者への麻酔薬の選択は？

坂本英治、今村佳樹、仲西修

Dental Frontier Q&A vol 13 67-68 Autumn 2000

### 3, Differential effects of trigeminal tractotomy on A $\delta$ - and C-fiber-mediated nociceptive responses (文献抄録)

坂本英治

ペインクリニック vol 22 No 7 1017 2001

### 4, Neurogenic Inflammation

坂本英治、今村佳樹、

Quintessenz Year Book 2001 p270 2001

### 5, 下顎大臼歯部に効かせる浸麻の麻酔法は？

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、仲西修

Dental Diamond 1月号(98)2002

### 6, 【口腔及びその周辺の痛み】 慢性口腔痛の考え方

今村佳樹、椎葉俊司、坂本英治、仲西修、鱒見進一

ペインクリニック 23(5) 620-627 2002

### 7, 痛みをとる 歯の障害から生じる痛み

今村佳樹、椎葉俊司、坂本英治、仲西修

からだの科学 226 35-38 2002

### 8, 非歯原性歯痛の診断と治療, 3, 頸性口腔顔面痛の診断と治療.

椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、仲西修

ザ・クインテッセンス 21(9)1962-1968.2002

### 9. 困ったときの Q&A 皮膚に貼付する表面麻酔剤のリドカインテープとはどのようなものですか。

口腔内で使用するときの注意点について教えてください。

坂本英治

デンタルフロンティア QA25号 59-60.2003

### 10, Magnetic resonance imaging of the intratemporal facial nerve idiopathic peripheral facial palsy (文献抄録)

坂本英治

ペインクリニック vol 22 No 7 1017 2004

11, 困ったときの Q&A 抜髄時に下顎の 67 の浸潤麻酔が効かないのですが、何かよい方法がありましたら、ご教示ください。

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、仲西修

困ったときの Q&A デンタルフロンティア QA29 号 47-48, 2004

12, Early treatment of Stellate Ganglion Block (SGB) prevents trigeminal neuropathy (TNP) after dental procedure.

Sakamoto E, Shiiba S, Sakamoto K, Nakanishi O, Matsumoto Y, Yoshida M, Kawahara H.  
International proceeding of 11 th International Pain Clinic World Society of Pain Clinicians 495-499. 2004

13. The suppression of anxiety would lead to the reduction of pain on the dental anxiety patients

Eiji Sakamoto, Shunji Shiiba, Kazumi Sakamoto, Izumi Yoshioka, Kazuhiro Tominaga, Serina Tsutsumi, Nozomu Harano, Mitsuhiro Yoshida, Hiroshi Kawahara and Osamu Nakanishi.

International proceeding of 11th Dental Congress on Modern Pain Control PG- 17 139. 2006.

14. 口腔領域におけるペインコントロールの臨床 歯・口・顔・顎の疼痛を治す 歯原性疼痛(歯槽骨炎、骨髄炎を含む)(解説/特集)

坂本英治

歯科医療 24(1) 15-19. 2010.

15. `臨床ワークブック` 口腔顔面痛

椎葉俊司、坂本英治、土井充

Anet 27-33 14(2) 2010

16. 原因不明の痛みにもどのように対応すべきか 4

その痛み、不定愁訴とするには特徴的すぎるでしょう！

坂本英治

歯界展望 116(1) 156-159. 2010.

17. 直線偏光近赤外線顔面痛への応用

坂本英治、風間富栄

光アライアンス 2012

## 学会参加

### 学会活動

#### シンポジウム

#### 国際学会

1. Study on the effect of photo therapy for orofacial pain syndromes

Eiji Sakamoto<sup>1</sup>, Eri Makihara<sup>2</sup>, Shunji Shiba<sup>1</sup>, Masato Makihara<sup>2</sup>, Shin-ich Masumi<sup>2</sup>, Osamu Nakanishi<sup>1</sup>

16th World Congress of International Society for Laser Surgery And Medicine 9. 7-10. 2005  
Tokyo.

2. The correlation between pain and emotion~a clinical study on the stress-induced hyperalgesia in dental phobia patients~

Eiji Sakamoto, Shunji Shiiba, Yoshihiko Okubo, Rie Etou and Osamu Nakanishi

3<sup>rd</sup> International Symposium on Spinal Cord Sciences 07

And Society of Nursing Health Sciences. PATHOLOGICAL PAIN: Molecular to Clinical Aspects Session 2. Clinical aspect for challenging potential treatment of neuropathic pain.  
2. 10. 2007. Ube Yamaguchi.

#### 国内学会

#### シンポジウム

1, アレルギー既往を有する小児の局所麻酔アレルギーの検査依頼について

坂本英治、仲西修（シンポジスト）

第 11 回九州歯科麻酔シンポジウム 2. 17. 2001 長崎

2, 九州歯科大学付属病院障害者(児)歯科における全身麻酔下治療の現状

—知的障害者歯科治療へのプロポフォル応用の可能性—

今村佳樹、岩本将嗣、椎葉俊司、大津ナツミ、長畑佐和子、坂本英治、仲西修

第12回九州歯科麻酔シンポジウム 2. 8 2002 宮崎

3, 三叉神経ニューロパシーに対する直線偏光近赤外線治療(Super lizer™)の効果についての検討

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、仲西修

第 14 回日本レーザー治療学会 6. 29. 2002 筑波

4. 今、話題のBLS, ICLS, ACLSを理解しよう

九州歯科大学におけるACLS (ICLS) の取り組み~“シンマ“が”心マ”になる日を目指して~

坂本英治

第 16 回九州歯科麻酔シンポジウム 4. 2 2006(H18) 熊本

5. シンポジウム3 三叉神経因性疼痛の病態および治療法に対する考察

坂本英治

第7回口腔顔面痛学会学術集会 10. 7-8, 2006 横浜

6. 難治性口腔顔面痛の鑑別と直線偏光近赤外線の効果についての検討

坂本英治、諸富孝彦、北村知昭、椎葉俊司、矢野淳也、永吉雅人、寺下正道、仲西修

第19回日本レーザー治療学会シンポジウム2 歯科におけるLLLT療法 6. 30-7. 1. 2007 東京

7. 下歯槽神経障害の予後診断

今村 佳樹、坂本英治、椎葉 俊司

2-MS3-C-5ミニシンポジウム3. 舌口唇麻痺の診断と治療の科学

第62回日本口腔科学会学術集会 2008 (H20) 4. 17. 18福岡国際会議場

8. シンポジウム3「歯科臨床における歯原性疼痛への対応」

坂本英治 (防衛医科大学)

第9回口腔顔面痛学会学術集会 2008 (H20) 7. 19- 20 福岡

9. 口腔顔面痛に対する直線偏光近赤外線療法の効果について

坂本英治、梅田英一郎、風間富栄

臨床医学シンポジウム3`骨関節へのレーザーの応用`

第30回日本レーザー医学会総会 2009 (H21) 12. 2-3

Laser TOKYO 2009 (H21) 12. 1-4 東京市ヶ谷

10. フリーコミュニケーション (in Japanese)

-若手歯科医師による口腔顔面痛への取り組み-

坂本英治 (座長)

第15回日本口腔顔面痛学会 総会・学術大会(第13回アジア頭蓋下顎機能障害学会 総会・学術大会と共催)

2010 (H22). 10. 2- 3 福岡市

11. 顎顔面部神経障害性疼痛へのプレガバリンの効果について

坂本英治 風間富栄

日本口腔顔面痛学会セミナー2011 (H23). 06. 05 東京

一般口演

1997(平成9)年

1, 髄腔内 Substance P および NMDA 誘導 thermal hyperalgesia に対する GABAPENTIN の効果  
坂本英治、Partridge, and Yaksh, TL.

第31回 日本ペインクリニック学会総会 P-111, 1997.7, 東京

2. Gabapentin Reverses Substance P-evoked Thermal Hyperalgesia By a D-Serine Reversible mechanism.

Sakamoto, E., Partridge, BL, Chaplan, SR and Yaksh, TL.

ABST American Society of Anesthesiologist meeting A-732 1997,10, San Diego

1998(平成10)年

3, Hydroxyl radical の脊髄刺激伝達経路への関与

坂本英治、石川敏三、椎葉俊司、高水間奨、仲西修

第26回 日本歯科麻酔学会総会 P-72 10.1998 長崎

4. 三叉神経ニューロパチーに対するケタミンの効果

今村佳樹, 神 房次, 富宿博隆, 坂本英治, 椎葉俊司, 岩本将嗣, 河原 博, 仲西 修

日本ペインクリニック学会誌, 5(4) : 511, 1998.

1999(平成11)年

5, ホルマリン誘発疼痛反応における脊髄活性酸素の役割

坂本英治、今村佳樹、河原博、岩本将嗣、椎葉俊司、仲西修

第46回 日本麻酔学会総会 P-191, 1999, 5, 札幌

6, Prognosis of prolonged abnormal sensation after dental treatment. 1. Using self-reported symptoms

M. Iwamoto, Y. Imamura, E. Sakamoto, S. Shiiba, H. Kawahara and O. Nakanishi.

9th World Congress on Pain. P-208 1999, 8 Wien, Austria

7. Prognosis of prolonged abnormal sensation after nerve and tissue injury during dental treatment by quantitative sensory testing.

Eiji Sakamoto, Yoshiki Imamura, Masatsugu Iwamoto, Shunji Shiiba, Hiroshi Kawahara, and Osamu Nakanishi.

9th World Congress on Pain. P-209 1999, 8 Wien, Austria.

8, 不安を軽減することは痛みを抑制する(口演)

坂本英治、石川敏三、今村佳樹、河原博、椎葉俊司、岩本将嗣、高水間奨、田原史子、安坂将樹、仲西修

第 27 回 日本歯科麻酔学会 1999. 10. 7-8. 東京

2000 (平成 12) 年

9, 口腔内に発現した三叉神経 Neuropathy に対する Stent 療法の治療効果 (口演)

坂本英治、今村佳樹、椎葉俊司、岩本将嗣、河原博、仲西修

第 18 回九州疼痛学会 2000. 2. 26. 久留米

10, 慢性腎不全を合併した糖尿病患者の全身麻酔経験 (口演)

坂本英治、安坂将樹、田原史子、椎葉俊司、岩本将嗣、河原博、

今村佳樹、仲西修

第 9 回日本有病者歯科医療学会 2000. 4. 1. 熊本

11. 不安と痛みの相関-不安を軽減することは痛みをやわらげられるのか-

坂本英治、今村佳樹、椎葉俊司、河原博、岩本将嗣、\*石川敏三、仲西修

第 47 回日本麻酔学会総会 2000. 4. 6-8. 東京

12. Prognosis of prolonged abnormal Sensation After Dental Treatment

Eiji Sakamoto , Yoshiki Imamura, Masatsugu Iwamoto, Shunji Shiiba, Hiroshi Kawahara, and Osamu Nakanishi.

3rd International Congress on Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders  
2000. 5. 12-15. Seoul

13, 歯科治療後の三叉神経ニューロパチーにおける知覚異常の予後診断に関する研究

椎葉俊司、今村佳樹、坂本英治、岩本将嗣、河原博、仲西修

第 34 回日本ペインクリニック学会総会 37-4 p342 2000. 7. 13-15 東京

14, 三叉神経ニューロパチーに対する星状神経節ブロックの効果

坂本英治、今村佳樹、椎葉俊司、岩本将嗣、河原博、仲西修

第 34 回日本ペインクリニック学会総会 37-5 p343 2000. 7. 13-15 東京

15. Is thermocoagulation an useful procedure for dentists? -In comparison with trigeminal ganglion alcohol block?.

Takase T, Imamura Y, shiiba S, Sakamoto E, Kawahara H and Nakanishi O

4th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, 2000, 6. 6-10, Cheju Island, Korea.

16, 九州歯科大学新附属病院疼痛外来における診療の動向 (口演)

吉田充広、椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、仲西修

第 1 回日本口腔顔面痛懇談会 2000. 11. 11. 大阪

17, 九州歯科大学附属病院における 1 年間の三叉神経痛新患患者の検討

-神経の圧迫度と臨床症状について-(口演)

今村佳樹、椎葉俊司、坂本英治、仲西修

第1回日本口腔顔面痛懇談会 2000. 11. 11. 大阪

18, Neurometer の臨床使用に関する研究 1) 測定値のばらつきと再現性の検討 2) 刺激周波数と神経線維の対応の検討(口演)

椎葉俊司, 坂本英治, 今村佳樹, 仲西 修

第1回日本口腔顔面痛懇談会 2000. 11. 11. 大阪

19, 外傷性三叉神経ニューロパシーに対する星状神経節ブロックの治療効果(口演)

坂本英治, 椎葉俊司, 今村佳樹, 仲西 修

第1回日本口腔顔面痛懇談会 2000. 11. 11. 大阪

20, Current Perception Threshold (CPT) を用いた三叉神経 Neuropathy の定量的感覚試験の検討(口演)

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、岩本将嗣、河原博、仲西修

第22回日本疼痛学会総会 2000. 12. 2. 京都 推薦演題

2001(平成13)年

21. Predicting prognosis of abnormal sensation after trigeminal nerve injury.

Imamura Y, Sakamoto E, shiiba S, Iwamoto M, Kawahara H and Nakanishi O.

22nd Annual Scientific Meeting of the American Pain Society, 2001, 4. 19-22, Phoenix, USA.

22, 不安を軽減することは痛みを和らげられる(口演)

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、岩本将嗣、河原博、仲西修

第16回日本日本歯科心身医学会総会 2001. 7. 8. 東京

23, 抗ヒスタミン薬マレイン酸クロルフェニラミン(ポララミン<sup>TM</sup>)の局所麻酔作用の検討(口演)

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、神田道子、大津ナツミ、長畑佐和子、坂本和美、小川陽子、平良靖、仲西 修

第29回日本歯科麻酔学会総会 2001. 10. 4-5. 福岡

24, 九州歯科大学付属病院口腔神経・疼痛外来の外来患者受診状況の検討(口演)

大津ナツミ、坂本英治、長畑佐和子、椎葉俊司、今村佳樹、吉田充宏、中島隆喜、安坂将樹、福井美由紀、仲西修

第29回日本歯科麻酔学会総会 2001. 10. 4-5. 福岡

25, 歯科治療における TCI を用いた Conscious Sedation 時の BIS による鎮静度の評価の検討

坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、仲西修

第21回日本臨床麻酔学会総会 3-039 S371 2001. 10. 18-20 横浜、神奈川

26. Stellate Ganglion Block Reverts Prolonged of Abnormal Sensation After Trigeminal Nerve Injury



Yoshiki Imamura, Eiji Sakamoto, Shunji Shiiba, and Osamu Nakanishi.

The 9th Scientific Meeting of Asian Academy of Craniomandibular Disorders . 2001.11.3-5.  
Busan KOREA

27, 末梢性顔面神経麻痺 60 例の検討(口演)

大津ナツミ, 長畑佐和子, 今村佳樹, 椎葉俊司, 坂本英治, 仲西修

日本口腔顔面痛懇談会 第 2 回研究会 2001. 11. 18. 東京

28, 当科で発見された脳腫瘍の 8 症例について(口演)

神田道子, 吉田充弘, 坂本英治, 椎葉俊司, 今村佳樹, 仲西 修

日本口腔顔面痛懇談会 第 2 回研究会 2001. 11. 18. 東京

29, 口腔顔面痛に対する SSRI (Paroxetine) の治療効果について(口演)

坂本英治, 椎葉俊司, 今村佳樹, 仲西修

日本口腔顔面痛懇談会 第 2 回研究会 2001. 11. 18. 東京

30, Oral dystonia の治療経験(口演)

坂本英治, 椎葉俊司, 今村佳樹, 仲西修

日本口腔顔面痛懇談会 第 2 回研究会 2001. 11. 18. 東京

2002(平成 14)年

31. Is cervicogenic odontalgia a possible pathology for unknown orofacial pain?

Imamura Y, Shiiba S, Sakamoto E and Nakanishi O.

Poster No38 P52 25th Scientific Meeting of the Scandinavian Association for the Study of Pain, 2002. 4. 4-7. Aalborg, Denmark.

32, 三叉神経ニューロパシーに対する直線偏光近赤外線 (Superlizer) の効果について(口演)

坂本英治, 椎葉俊司, 今村佳樹, 神田道子, 仲西修

日本口腔顔面痛懇談会 第 3 回研究会 2002. 5. 26. 福岡

33, 頰性歯痛に関する臨床検討(口演)

今村佳樹, 椎葉俊司, 坂本英治, 大津ナツミ, 長畑佐和子, 仲西 修

日本口腔顔面痛懇談会 第 3 回研究会 2002. 5. 26. 福岡

34, 星状神経節ブロックの効果 -必要な局所麻酔薬量の検討-(口演)

椎葉俊司, 坂本英治, 今村佳樹, 大津ナツミ, 吉田充広, 仲西 修

日本口腔顔面痛懇談会 第 3 回研究会 2002. 5. 26. 福岡

35, 頸部組織からの関連痛による歯痛 (頰性歯痛) について

今村佳樹, 椎葉俊司, 坂本英治, 岩本將嗣, 河原博, 仲西修

第 38 回日本ペインクリニック学会総会 P1-7 2002. 7. 18-20. 宮崎

36. STELLATE GANGLION BLOCK (SGB) PREVENTS TRIGEMINAL NEUROPATHY AFTER NERVE INJURY

Eiji Sakamoto , Yoshiki Imamura, Shunji Shiiba, Masatsugu Iwamoto, Hiroshi Kawahara and Osamu Nakanishi.

10th World Congress on Pain 144-P140 2002. 8. 17-23. San Diego USA

37. RELATIONSHIP BETWEEN MRI FINDINGS AND CLINICAL SYMPTOMS IN TRIGEMINAL NEURALGIA  
Yoshiki Imamura, Eiji Sakamoto , Shunji Shiiba, Masatsugu Iwamoto, Hiroshi Kawahara and Osamu Nakanishi. 10th World Congress on Pain 147-P143 2002. 8. 17-23. San Diego USA  
ここから

38. REPRODUCIBILITY AND CHARACTERISTICS OF CURRENT PERCEPTION THRESHOLDS WITH PLATINUM HEMISPHERE ELECTRODES IN THE ORAL MUCOSA

Shunji Shiiba, Eiji Sakamoto , Yoshiki Imamura, Osamu Nakanishi.

10th World Congress on Pain 1386-P302 2002. 8. 17-23. San Diego USA.

39. 頰性歯痛の臨床的検討

坂本英治、今村佳樹、椎葉俊司、坂本和美、平良祥、平良陽子、仲西修

第30回日本歯科麻酔学会総会 2002. 9. 19-20. 東京

40. C6 星状神経節ブロックの交感神経遮断効果の検討-局所麻酔薬使用量について-

椎葉俊司、坂本英治、今村佳樹、坂本和美、平良祥、平良陽子、仲西修

第30回日本歯科麻酔学会総会 P-99 2002. 9. 19-20. 東京

2003(平成15)年

41. 九州歯科大学付属病院における針刺し事故についての検討(口演)

坂本英治 1、久保田浩三 2、椎葉俊司 1、有留ひふみ 1、大宅江利子 1、小林亜由美 1、城野嘉子 1、高田豊 3、仲西修 1

第13回九州歯科麻酔シンポジウム 2003. 3. 1 福岡市

42. Wegener's granulomatosis presenting with Cluster Headache: A case report

Eiji Sakamoto, Shunji Shiiba, Yoshiki Imamura, Shin-ichi Masumi and Osamu Nakanishi

American Academy of Orofacial Pain (AAOP) 28th Annual Scientific Meeting P-315  
2003. 4. 4-6. Dorado, Puerto Rico

43. Pain Management of Cervicogenic Odontalgia caused by Cervical Spondylosis and Disc Herniation

Shunji Shiiba, Eiji Sakamoto, Yoshiki Imamura, Shin-ichi Masumi and Osamu Nakanishi

American Academy of Orofacial Pain (AAOP) 28th Annual Scientific Meeting P-305  
2003. 4. 4-6. Dorado, Puerto Rico

44. オトガイ部の知覚鈍麻を主訴とした numb-chin syndrome の一症例(口演)

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、今村佳樹、仲西修

第 50 回日本麻酔学会学術総会 2003. 5. 29- 31 横浜

45, オトガイ部知覚鈍麻から明らかになった顎骨内悪性腫瘍転移- numb chin syndrome-の一症例(口演)

坂本和美、椎葉俊司、長畑佐和子、大津ナツミ、吉田充広、今村佳樹\*、坂本英治、仲西修  
日本口腔顔面痛懇談会 第 4 回研究会 2003. 6. 1. 東京

46, Neuropathic tooth pain と考えられる一症例(口演)

坂本英治、椎葉俊司、吉田充広、坂本和美、長畑佐和子、大津ナツミ、今村佳樹\*、仲西修  
日本口腔顔面痛懇談会 第 4 回研究会 2003. 6. 1. 東京

47, 心療内科医との合同症例検討会の試み(口演)

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、長畑佐和子、大津ナツミ、吉田充広、仲西 修  
日本口腔顔面痛懇談会 第 4 回研究会 2003. 6. 1. 東京

48, 障害者歯科外来におけるプロポフォール鎮静法の検討

坂本英治、岩本將嗣、椎葉俊司、今村佳樹、松本吉洋、吉田充弘、河原博、仲西修  
日本臨床麻酔学会 第 23 回大会 2003. 10. 23-25. 山口

2004(平成 16)年

49, 術前説明は十分なのか? ~患者と麻酔科医の認識ギャップを埋めるために~(口演)

甲斐絢、原野望、長畑佐和子、坂本和美、坂本英治、椎葉俊司、松本吉洋、吉田充広、河原博、仲西修、

法師山弘行<南垣碩

第 14 回九州歯科麻酔シンポジウム 2004. 2. 27. 大分

50, 麻酔前投薬についての検討~多方面の立場から~(口演)

原野望、甲斐絢、長畑佐和子、坂本和美、坂本英治、椎葉俊司、松本吉洋、吉田充広、河原博、仲西修、

第 14 回九州歯科麻酔シンポジウム 2004. 2. 27. 大分

51, 三叉神経痛における根圧迫と臨床症状に関する画像診断的検討(口演)

荒川幸雄, 市川太, 坪井栄達, 椎葉俊司, 坂本英治、今村佳樹

第8回日本口腔顔面神経機能学会 2004. 3. 6 横浜

52, 顔面痛を伴う顎不随意運動の診断と治療についての検討(口演)

坂本英治、甲斐絢、椎葉俊司、今村佳樹、仲西修

第 8 回日本口腔顔面神経機能学会 2004. 3. 6 横浜.

53, 三叉神経領域への Current perception threshold(CPT)の応用(口演)

椎葉俊司 坂本英治、坂本和美 河原 博 松本吉洋 吉田充広 仲西 修

第 8 回日本口腔顔面神経機能学会 2004. 3. 6 横浜.

54, 下歯槽神経障害における異常感覚の予後診断(口演)

市川太, 荒川幸雄, 坪井栄達, 椎葉俊司, 坂本英治、今村佳樹

第8回日本口腔顔面神経機能学会 2004. 3. 6 横浜.

55, 外傷性三叉神経ニューロパシーの予後と星状神経節ブロックの効果

原野望、坂本英治、椎葉俊司、今村佳樹、仲西修

第8回日本口腔顔面神経機能学会 2004. 3. 6 横浜.

56, 下顎後退術術後の知覚麻痺の検討—SSRO と IVRO の差について—(口演)

坂本和美 椎葉俊司 坂本英治 河原 博 松本吉洋 吉田充広 仲西 修

第8回日本口腔顔面神経機能学会 2004. 3. 6 横浜.

57, 第1回九州歯科大学共用試験歯学 OSCE トライアルの評価結果に対する評価者間の検討

坂本英治、庄野庸雄、吉野賢一、木尾哲朗、有田正博、黒川英雄、大住伴子、北村知昭、芳賀健輔、中村恵子、小城辰郎、一田利道、西田郁子、佐藤耕一、篠原雄二、安細敏弘、園木一男、瀬田祐司、村田貴俊、林田裕、寺下正道、横田誠、西原達次

第64回九州歯科学会総会 2004. 5. 15-16. 福岡

58, 歯科麻酔における麻酔前投薬についての検討

坂本英治、原野望、甲斐絢、椎葉俊司、仲西修

日本麻酔学会第51回総会 2004. 5. 27-29. 名古屋

59, 歯科を受診した歯科心身症患者の検討-歯科的立場からの考察-

坂本英治<sup>1</sup>、椎葉俊司<sup>1</sup>、村岡 衛<sup>2</sup>、今村佳樹<sup>3</sup>、甲斐 絢<sup>1</sup>、原野 望<sup>1</sup>、渋谷智明<sup>4</sup>、曾我部浩一<sup>5</sup>、仲西修<sup>1</sup>

第45回日本心身医学会総会 2004. 6. 3-5. 北九州市、福岡

60, 三叉神経痛に対するリドカイン静注療法の可能性(口演)

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、眞鍋治彦、大津ナツミ、原野望、甲斐 絢、吉田充宏、今村佳樹、仲西修

日本口腔顔面痛懇談会第5回研究会 2004. 6. 12- 13. 新潟市

61, 三叉神経痛に対しガンマーナイフ治療を選択した患者のその後(口演)

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、原野 望、甲斐 絢、大津ナツミ、長畑佐和子、仲西 修

日本口腔顔面痛懇談会第5回研究会 2004. 6. 12- 13. 新潟市

62. 腫瘍に由来する三叉神経痛の定量的感覚検査についての検討(口演)

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、仲西修

第3回北九州疼痛研究会 2004. 6. 25. 北九州市、福岡

63. Early treatment of Stellate Ganglion Block (SGB) prevents trigeminal neuropathy (TNP) after dental procedure.

Sakamoto E, Shiiba S, Sakamoto K, Nakanishi O, Matsumoto Y, Yoshida M, Kawahara H.

11th International Pain Clinic World Society of Pain Clinicians 2004. 7.10-17.

Tokyo, Japan.

64. 筋筋膜痛症患者の心理状態に関する研究

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、河原博、仲西修

第 38 回日本ペインクリニック学会総会 2-067 2004. 7. 10-17. 東京

65. 脳腫瘍由来の三叉神経痛患者 4 症例の感覚についての検討(口演)

坂本英治 1, 椎葉俊司 1, 坂本和美 1, 原野望 1, 甲斐絢 1, 仲西修 1

第 26 回日本疼痛学会総会 2004. 7. 17. 東京 推薦演題

66. カルバマゼピンが継続できない三叉神経痛に対するリドカイン静注療法についての検討(口演)

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、原野望、甲斐絢、大津ナツミ、長畑佐和子、吉田充宏、松本吉洋、仲西修

第 32 回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会 0-63 2004. 9. 30-10. 2. 東京

67. 患者と麻酔科医の麻酔合併症の認識の検討

甲斐絢、原野望、萩原正剛、坂本英治、堤世理奈、林知孝、坂本和美、有留ひふみ、椎葉俊司、仲西修

第 32 回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会 P-29 2004. 9. 30-10. 2. 東京

68. 歯痛を主訴とした Zoster sine Herpete の一症例(口演)

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、萩原正剛、永吉雅人、吉田充広、松本吉洋、河原博、寺下正道、仲西修

第 32 回日本頭痛学会総会 2004. 11. 12- 13. 鹿児島

2005(平成 17)年

69. 難治性歯痛患者に対する当院での取り組みの臨床学的検討-エンドドンティックスとペインクリニック的アプローチによるクリティカルパス構築を目指して-

坂本英治<sup>1)</sup>、北村知昭<sup>2)</sup>、椎葉俊司<sup>1)</sup>、永吉雅人<sup>2)</sup>、矢野淳也<sup>2)</sup>、諸富孝彦<sup>2)</sup>、陳 克恭<sup>2)</sup>、寺下正道<sup>2)</sup>、仲西修<sup>1)</sup>

口腔顔面痛懇談会 第 6 回研究会第 10 回 The Japan Academy of Orofacial Pain  
共催学術集会 2005. 6. 11-12. 岡山

70. SUNCT 症候群の 1 症例

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、大津ナツミ、長畑佐和子、吉田充広、仲西修

口腔顔面痛懇談会 第 6 回研究会第 10 回 The Japan Academy of Orofacial Pain  
共催学術集会 2005. 6. 11-12. 岡山

71. A case of SUNCT syndrome successfully treated with intravenous lidocaine

Shiiba S, Sakamoto E, Sakamoto K, Matsumoto Y, Yoshida M, Kawahara H and Nakanishi O.

Poster No 33

The 4<sup>th</sup> International Conference on Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders  
2005. 8. 26–28. Sydney, Australia

72. Intravenous lidocaine for the treatment of trigeminal autonomic cephalalgia (TAC) :  
report of three cases Poster No R013

Eiji Sakamoto\*<sup>1</sup>, Shunji Shiiba<sup>1</sup>, Kazumi Sakamoto<sup>1</sup>, Yoshihiro Matsumoto<sup>1</sup>, Mitsuhiro  
Yoshida<sup>1</sup>, Hiroshi Kawahara<sup>1</sup> and Osamu Nakanishi<sup>1</sup>

12th Congress of the International Headache Society in Kyoto,  
Japan, 2005 10. 9–12 Kyoto, Japan

73. A case of SUNCT syndrome successfully treated with intravenous lidocaine. Poster No  
H100

Shunji Shiiba<sup>1</sup>, Eiji Sakamoto\*<sup>1</sup>, Kazumi Sakamoto<sup>1</sup>, Yoshihiro Matsumoto<sup>1</sup>, Mitsuhiro  
Yoshida<sup>1</sup>, Hiroshi Kawahara<sup>1</sup> and Osamu Nakanishi<sup>1</sup>:

12th Congress of the International Headache Society in Kyoto, Japan, 2005 10.9–12  
Kyoto, Japan

74. 星状神経節ブロック後に転換性障害(ヒステリー)を発症した1症例

天野裕治、坂本英治、仲西修

第33回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会 P-87 2005. 10. 26– 28. 鹿児島

75. SUNCT 症候群の治療経験

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、長畑佐和子、堤 世理奈、林 知孝、松本吉洋、吉田充宏、  
河原博、仲西修

第33回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会 P-142 2005. 10. 26– 28. 鹿児島

76. 歯科医療従事者の救急蘇生についての意識と BLS 実習による教育効果についての検討(口  
演)

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、原野望、甲斐絢、吉田充広、河原博、仲西修

日本臨床麻酔学会第25回大会 2005. 11. 17–19. 大阪

2006(平成18)年

77. F回路の吸気用内管脱離によって高炭酸ガス血症をきたした症例(口演)

原野望、坂本英治、長畑佐和子、有留ひふみ、坂本和美、吉田充広、椎葉俊司、河原博、仲西  
修

第16回九州歯科麻酔シンポジウム 2006. 4. 2. 熊本

78. 口腔外科小手術に笑気は必要か?

坂本英治、椎葉俊司、原野望、吉田充広、河原博、仲西修

日本麻酔科学会第53回学術集会 2006. 6. 1- 3. 神戸. 兵庫

79. 星状神経節ブロックの効果および合併症、特に嘔声に及ぼす因子についての検討

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、仲西修

第40回日本ペインクリニック学会 2006. 7. 13- 15. 神戸. 兵庫

80. Effective practical use of balloons and cards of cartoon characters during the dental treatment of disabled children. (Poster No P12: 03)

N Harano, M Yoshida, Y Kojima, K Maki, A Kai, E Sakamoto, S Shiiba, H Kawahara, O Nakanishi.

18th Congress of International Association for Disability and Oral Health(iADH) 2006. 8. 23-29, Goteborg, Sweden.

81 The suppression of anxiety would lead to the reduction of pain on the dental anxiety patients

Eiji Sakamoto<sup>1</sup>, Shunji Shiiba<sup>1</sup>, Kazumi Sakamoto<sup>1</sup>, Izumi Yoshioka<sup>2</sup>, Kazuhiro Tominaga<sup>2</sup>, Serina Tsutsumi<sup>1</sup>, Nozomu Harano<sup>1</sup>, Mitsuhiro Yoshida<sup>1</sup>, Hiroshi Kawahara<sup>1</sup> and Osamu Nakanishi<sup>1</sup>

11th International Federation of Dental Anesthesiology Society (IFDAS), 2006. 10 4-7. Yokohama, Japan

82. 星状神経節ブロックの効果を左右する可能性のある様々な因子の比較検討 P0 84)

坂本和美、坂本英治、椎葉俊司、萩原正剛、植田佳子、江藤梨絵、日高和美、中本真理子、仲西修

第34回 日本歯科麻酔学会総会・学術集会 2006. 10 6-7. 横浜

83. 口腔外科手術での笑気の有用性について (P033)

萩原正剛、坂本英治、原野望、林友孝、大久保芳彦、下里剛史、吉田充広、椎葉俊司、河原博、仲西修

第34回 日本歯科麻酔学会総会・学術集会 2006. 10 6-7. 横浜

84. 星状神経節ブロックの効果および嘔声に及ぼす因子についての検討

坂本和美、坂本英治、椎葉俊司、萩原正剛、仲西修

第7回日本口腔顔面痛学会学術集会 2006. 10. 7-8. 横浜

85. 疼痛管理に難渋した難治性外傷性三叉神経ニューロパシーの治療経験

萩原正剛、坂本英治、坂本和美、椎葉俊司、仲西修

第7回日本口腔顔面痛学会学術集会 2006. 10. 7-8. 横浜

86. ケタミンのイオン導入が有効であった帯状疱疹後神経痛の2症例

椎葉俊司、坂本英治、坂本和美、大津ナツミ、長畑佐和子、吉田充広、仲西修

第7回日本口腔顔面痛学会学術集会 2006. 10. 7-8. 横浜

87. 九州歯科大学付属歯科麻酔・疼痛外来における診療の動向

-第2報他診療科との連携について-

坂本英治、椎葉俊司、坂本和美、仲西修

第7回日本口腔顔面痛学会学術集会 2006. 10. 7-8. 横浜

88, 唾液アミラーゼを用いた術前の不安評価についての検討(口演) 演題番号 : 1-06-22

坂本英治、原野望、椎葉俊司、坂本和美、吉田充広、河原博、仲西修

日本臨床麻酔学会第 26 回大会 2006. 10. 25-27. 旭川

2007 年(平成 19)

89. 歯内治療で改善しない難治性歯痛患者への口腔顔面痛治療の検討

諸富孝彦、坂本英治、北村知昭、椎葉俊司、矢野淳也、永吉雅人、寺下正道

第 28 回日本歯内療法学会学術大会 広島大会(The 5th KAE-JEA Joint Meeting) 2007. 5. 26-27

90. 歯科治療による下顎神経障害後の皮膚表面温度の変化

椎葉俊司、坂本英治、河原博、仲西修

日本ペインクリニック学会第 41 回大会 2007. 07. 05-7 横浜

2008 年(平成 20)

91. カルバマゼピンによる DIHS (Drug-Induced Hypersensitivity Syndrome) が疑われた症例  
(口演)

平野昌人、池田健彦、坂本英治、風間富栄

第 3 回埼玉ペインクリニック研究会 2008. 1. 19 さいたま市

92. 筋筋膜痛症を併発する三叉神経痛症例について(口演)

坂本英治、荒木義之、平野昌人、雫石正明、池田健彦、梅田英一郎、風間富栄

日本ペインクリニック学会 第10回北関東地方会 第45回埼玉麻酔科専門医会合同集会  
2008. 5. 31 さいたま市

93. 術後咽頭症状の危険因子についての検討

坂本英治 雫石正明 高松功 平野昌人 梅田英一郎 風間富栄

P1-77-06 日本麻酔科学会第 55 回学術集会 2008. 6. 12-14 横浜

94. カルバマゼピンによる DIHS (Drug-Induced Hypersensitivity Syndrome) が疑われた症例

平野昌人<sup>1</sup> 池田健彦<sup>1</sup> 坂本英治<sup>1</sup> 風間富栄<sup>1</sup>

P2-38-04 日本麻酔科学会第55回学術集会2008. 6. 12-14 横浜

95. Trigeminal neuralgia presenting with myofacial pain : A case report

Eiji Sakamoto, Yoshiyuki Araki, Masanori Kawaguchi, Masato Hirano, Masaaki Shizukuishi,  
Takehiko Ikeda, Eiichiro Umeda, Tomiei Kazama.

P48 3rd Asian pain symposium 7. 19-20 2008 Fukuoka. Japan



96. 原因不明の口腔顔面痛として当科に紹介となった症例の検討(会議録)

椎葉俊司, 坂本英治, 鬼頭慎司, 松本忍, 若杉奈緒, 小田昌史, 森本泰宏, 仲西修

第 21 回日本口腔診断学会総会・学術大会 2008 (H20) 9. 19-20 東京

97. 三叉神経痛治療法の選択と予後判定におけるMR画像の有効性(会議録)

Author : 田中達朗, 椎間俊司, 坂本英治, 鬼頭慎司, 松本忍, 若杉奈緒, 小田昌史, 仲西修, 森本泰宏

第 21 回日本口腔診断学会総会・学術大会 2008 (H20) 9. 19-20 東京

98. 肥満患者は術後咽頭症状が出現しやすい～挿管困難と咽頭症状の発現の関連の検討～

佐藤大介、田村響子、大坪由紀子、坂本英治、梅田英一郎、風間富栄

P2-15 第 36 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 2008. 10. 8-10 大阪

2009. (平成 21) 年

99. 三叉神経・自律神経性頭痛の 1 例(口演)

坂本英治、上田朋範、福田功、平野昌人、雫石正明、梅田英一郎、風間富栄

演題 2. 第 4 回埼玉ペインクリニック研究会 2009. 1. 24 埼玉 さいたま

100. paroxysmal hemicrania を疑う顔面痛の 1 例(口演)

防衛医科大学校 麻酔学講座

坂本英治、上田朋範、福田功、平野昌人、雫石正明、梅田英一郎、風間富栄

第 9 回日本ペインクリニック学会北関東地方会 2009. 3. 7 群馬 前橋.

101. 脳性麻痺に由来する筋筋膜痛症に対するボツリヌス毒素の効果

坂本英治、平野昌人、雫石正明、高松功、梅田英一郎、風間富栄

第 10 回日本口腔顔面痛学会学術大会 2009, 7. 26-27 東京

102. 換気、挿管困難の予測としての STOP-Bang Questionnaire の有用性

坂本英治 大坪由紀子 田村響子 佐藤大介 梅田英一郎 風間富栄

P-2-8 第 37 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 2009. 10. 8-10 名古屋

2010(平成 22) 年

103. 星状神経節ブロックの効果と嘔声に及ぼす影響因子についての検討

防衛医科大学校 麻酔科

坂本英治、梅田英一郎、湯舟晋也、児玉光巖、雫石正明、高松功、池田健彦、風間富栄

演題 3. 第 5 回埼玉ペインクリニック研究会 2010. 1. 30 埼玉 さいたま

104. 効果的な星状神経節ブロックのための影響因子についての検討

坂本英治、梅田英一郎、増井健一、湯舟晋也、児玉光巖、雫石正明、高松功、池田健彦、風間富栄

第 10 回日本ペインクリニック学会北関東地方会 2010.3.6 栃木

105. 神経因性疼痛における ERK2 の役割

大坪由紀子、佐藤泰司、荒木義之、児玉光厳、坂本英治、風間富栄

日本麻酔科学会第 57 回学術集会 Q06 優秀演題 痛み 02 Q06-4 2010.6.3-5 福岡

106. プロポフォール静脈麻酔の至適鎮静量に対する術前不安の影響

坂本英治、増井健一、大坪由紀子、梅田英一郎、田村響子、佐藤大介、風間富栄

第 38 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 P1-B-40 2010.10.6-8 横須賀 神奈川

107. 静脈鎮静法における呼吸抑制の術前予測についての検討

坂本英治 大坪由紀子 田村響子 佐藤大介 梅田英一郎 風間富栄

第 38 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 P1-C-17 2010.10.6-8 横須賀 神奈川

108. 唾液アミラーゼ活性測定法を用いての挿管刺激の評価について

大坪由紀子、坂本英治、梅田英一郎、風間富栄

第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 2010.10.6-8 横須賀 神奈川

109. 神経障害性疼痛発症における不安の影響

坂本英治、佐藤泰司、大坪由紀子、梅田英一郎、田村響子、佐藤大介、風間富栄

第 38 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 P2-C-14 2010.10.6-8 横須賀 神奈川

2011(平成 23)年

110. 頭頸部筋筋膜痛に対するトリガーポイントボツリヌス療法についての検討

坂本英治、白神麻依子、筒井紗也子、雫石正明、増井健一、高松功、池田健彦、風間富栄

日本ペインクリニック学会北関東地方会 2011(H23)3.13. 栃木

111. 上気道炎合併小児症例における呼吸器系合併症の頻度について

全奈穂、藤野寛子、伊藤田翔子、松尾和樹、北原誠子、坂本英治、横山武志

第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 9-P3-19 2011.10.8-9 神戸 兵庫